

## 赤い羽根の街頭募金Ⅱ



10月17日(土)、ベシヤ飯山店前で市内児童センター等と「こどもとど塾」の子どもたちが街頭募金を行い、また多くの方々にご協力いただきました。



## 赤い羽根街頭募金の報告

10月17日(土)、ベシヤ飯山店前で、市内児童センター等の利用児童と、「こどもとど塾」の子どもたちによる「街頭募金」が行われました(左と右下の写真)。



今回は、秋津地区民生児童委員協議会会長の丸山宗明さん、元・主任児童委員の坪井喜世さんも応援にかけつけてくださいました。おかげ様で、2万4552円の浄財が集まりました。中には、お財布をひっくり返して、中身を全部入れてくださった方もいらっしゃいました。

その前のAコープみゆき店前の街頭募金では、1万5355円のご寄付をいただいております。

「赤い羽根共同募金」の期間はまだまだ続きますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## ちぎり絵作品展

10月19日(月)、曙町の滝沢タミノさんより、「ちぎり絵」をお借りし、飯山市福祉センターに展示させていただきました(左の写真)。

「ねりんピック」に出展し、表彰され、その後全国を回ってきた作品もあり、それは見事なものばかりでした。

「なにこれ?ちぎり絵じゃなくて写真だねか」なんてせうしようもえらるんだで」と笑顔で話すタミノさん。

ちぎり絵は、60歳で退職された後に、公民館の講座で習い始めたそうです。

気に入った、納得のいく色の紙を探すのに苦労されているそうです。「地元の色が一番いい」と仰っていました。

た。やはり地域にあるものが一番良いようです。

また、コケの質感を出すために悩み、夢にまで出てきて、そこからアイデアをえて出来上がった作品もあるとか。

13点の作品をお借りして、飯山市福祉センター3階の廊下と会議室に展示してあります。

お寺を描いた作品をお借りしていますが、中には右下のような風景の作品、また、昔の飯山線走るS



写真よりも質感があり、とても見ごたえがあります

## 年の瀬のお見舞い

何かと物入りな年の瀬ですが、今年も「赤い羽根共同募金」を財源に、「愛のしるしクーポン券贈呈事業」※を行います。

対象者は、介護が大変な介護者、母子・父子世帯になった方々等、左の表のとおりです。

左記の表①と②の方々は民生委員さんを通じて申し込みをしていただくようになりますが、③と④の方々にしましては「手上げ式」になります。ご希望の方は、飯山市福祉センター、または、お近くの活性化センターに置いてある申込み用紙にご記入の上、担当民生委員さんのもとにお持ち下さい。

愛のしるしクーポン券贈呈事業対象者
①介護が大変な介護者(要介護度3~5)
②重度心身障害者の介護者
③母子・父子世帯になった方々 (平成20年11月1日~平成21年10月31日の間)
④本協議会会長が特に認める方々
<b>申込み期限：12月15日(火)</b>

※「愛のしるしクーポン」とは、介護者等の激励(外出の機会の提供等)と市内商店の活性化等を目的とした「商品券」です。

## アルミと車イスと野沢菜



左から、上原さん、常田さん、足立さん、木村さん

10月15日(木)、常岩の里ながみねの食堂で、第一中学校からの車イス贈呈式がありました。

福祉委員会の委員長・木村香月さん(3年)、副委員長長の足立友美さん(3年)、書記の常田雅幸さん(3年)と担当の先生から、利用者代表の上原礎吉さんに手渡されました(左の写真)。

最初は、プルタブを集めていましたが、あまりに時間がかかるので、缶を集めるようになったそうです。そして、集まったアルミを業者に引き取ってもらい、そのお金で車イスを購入し、寄贈されました。

その後、お礼として、上

原さんより手拭いがプレゼントされました(下の写真)。

これは、「常岩の里ながみね」が毎年行っている「雪のつどい」と「交流ウォーク」に、一中の生徒さんたちが参加され、そのつながらりから生まれた寄付だそうです。

寄付に訪れた3人の生徒さんからは、「校舎が汚れないように洗った」、「大変だったけど、みんな協力してやったから楽しかった」、「ビールの缶が一番多かった」という声が聞かれました。

高橋繁夫施設長からは、「有効に使わせていただきませう」とお礼の言葉がありました。

また、障害者に関する本を4冊寄贈され、「バリアフリーという言葉があるが、一番大きいバリアは心の中にある」という話もありました。

ここで、「常岩の里ながみね」からのお礼です。



上原さんから手拭いのプレゼント

「常岩の里ながみね」では、毎年、野沢菜を漬けて利用者の皆さんに食べていただいているのですが、今年はずで、いまだ野沢菜が手に入らないそうです。

そこで、野沢菜を寄付してくださる方を探しています。

「おうちの野沢菜、食ってくんねかい」という方がいらつしやいましたら、ぜひ左記までご連絡下さい。

常岩の里ながみね ☎ 0051

## ご寄付・ご訪問 ～いつもありがとうございます～

平成21年9月21日～10月20日分

施設名等	ご芳名	内容等	ご寄附		
			ご芳名	物品・金額	備考
湯の入荘	防犯協会女性部 様	寸劇「オレオレ詐欺」	飯山赤十字病院 様	105,920円	ふれあい祭収益から
	富山義隆 様	健康ボラ			
	大塚 恵治 様 他1名様	作業ボラ			
	小林 その子 様	読書・映画ボラ			
	コーロエテルナ 様	コンサート			
	大木 輝男 様	健康ボラ			
	キャラバンメイト 様	「認知症を学ぼう」			
	月岡 晶 様	健康ボラ			
飯山学園	メアリー・クリフト 様	英会話、ピアノ、カヌー	飯山赤十字病院 様	105,920円	ふれあい祭収益から
	ピーター・クリフト 様	健康ボラ			
	ナルクの会 様	日中保育			
	飯山市更生保護女性会 様	日中保育			
	富井 希帆 様	日中保育			
常岩の里 ながみね	上松 潤 様	飾り花サークルボラ	飯山赤十字病院 様	105,920円	ふれあい祭収益から
	メアリー・クリフト 様	活動・余暇支援ボラ			
	ピーター・クリフト 様	余暇活動支援ボラ	須多峰 介護センター		
	上村 恵子 様	ヨガ指導ボラ			
	小林 求 様	散髪ボラ	飯山市 児童クラブ		
	倉井 新一 様				
	長谷川 弘昭 様		素語りの会	小野澤 さつき 様 栗岩 保子 様	お話会とわら細工指導
	加藤 昭雄 様				
	小出 則之 様	瑞穂児童クラブ	飯山食文化の会 様		おやき作り指導
	木島平婦人ボランティア 賛助会 様				
飯山赤十字病院 様					

## 飯山赤十字病院からのご寄付



古川先生(右)から武田事務局長へ

10月29日(木)、飯山赤十字病院で今月25日に行われた「ふれあい祭」でのバザーの売上げが、「日頃お世話になっている地域の方々のために」と寄付されました。飯山日赤病院の古川賢一先生から、飯山市社協・武田事務局長に直接手渡された寄付金は、10万5920円になりました。

このバザーはとても好評で、始まってから1時間足らずですべて売り切れてしまったそうです。

この寄付は、飯山日赤の職員の皆さんからの声で行われたとのこと。

ありがとうございます。

## 全ては子どものために：



講演の様子

10月22日(木)、子どものための講演会と打合せ会が、飯山市福祉センターで同時に行われました。

一つは、母子通園施設「ゆきんこ園」主催の「乳幼児のための遊びと生活支援」と題して行われた、作業療法士の三ツ井直美先生による講演。

ここでは、

- ・子どもの成長には順番があり、それを飛び越して発達しない。
- ・やらされたことは身につかない
- ・が、自発的な活動は身につく。
- ・自分からの遊びが「今のその子」に大切なこと。

というお話がありました。

もう一つは、「子育て緊急サポート事業」打合せ会です。

学校閉鎖等の措置がとられ、保護者が仕事などのため面倒を見られない場合、緊急サポートが飯山市福祉センター、常盤の「とうと宿ときわ」でお預かりする、ということなどが決められました。

基本的には午前8時から午後6時までの間です。その際の持ち物は、①緊急連絡先等を記入した情報カード、②お昼、③水筒、④マスクの4つです。

利用料は1時間600円で、預かり所までは各自送迎となります。ご都合がつかない方は、ご相談ください。

☎ 2840



「子育て緊急サポート」打合せ会の様子

## 大盛況でした、日赤奉仕団・更女バザー



奉仕団バザーの様子

飯山市日赤奉仕団飯山分団と、飯山市更生保護女性会のバザーが「えびす講」に合わせて、11月3日(火)に行われました。

当日は、各会場ともお目当ての品を買いにいらつしやうした方々で大賑わいでした。

日赤奉仕団の売り上げは、「歳末たすけあい募金」として「赤い羽根共同募金」に寄付されました。

更女の売上げは、松本市の更生施設「みすず寮」に寄付されます。

ハミダシ記事：先日、NPO全国交流会議に、原村まで出かけました。八ヶ岳の紅葉も見事でしたが、講演の講師の「景気の悪いスキー場ほど地元民がスキーを滑りに来ていない」という言葉が印象的でした....

## 歌

飯山 石沢 タツエ

・学会で孫がアメリカ無事祈る

・こがらしが吹いてあわてる冬がこい

・紅葉も大分色づき朝夕の

・寒さ身にしむ秋深まり行く

・田の稲も刈られて今は新米に

長い冬待つ北の国かな

飯山 植中 晶子

・寒くなり物干しの穴蛙すみ

・ひい孫に手を延ばされて抱けぬ身に

皆様の作品をお待ちしております

毎月末までに、飯山市福祉センターまで

作品をお送りください